

新機種紹介 広報部会

▶ <02> 掘削機械

02-〈02〉-16	コマツ 油圧ショベル PC 1250 ₇	'02.06 発売 モデルチェンジ
------------	---------------------------------------	----------------------

鉱山・碎石現場や大形土木工事現場で稼働する油圧ショベル PC 1100 をフルモデルチェンジし、低燃費生産性、居住性、メンテナンス性、耐久性などの向上を図ったものである。日・米・欧の排出ガス2次規制をクリアした高出力エンジンの搭載と余裕の油圧力により、掘削力、けん引力をアップして作業性を向上するとともに、作業優先のアクティブモードと省エネルギー・低騒音に配慮した燃費優先のエコモードを設定して、ワンタッチ選択による大作業量と低燃費を実現した。ブーム、アーム、フレームなどは、最適構造設計と重要箇所の板厚アップなどで強化し、電気回路に強化型コネクタを、油圧回路にインラインフィルタを採用して、耐久性と信頼性を向上した。碎石仕様においてはさらに、下転輪やクローラの損傷を防止するフルフローラガード、アーム内側の損傷を防ぐプロテクタ、衝撃や摩耗に強い専用バケットなどを装備している。機械の稼働状況や主要コンポーネントの作動状態を管理する VHMS (Vehicle Health Mon-

表一 PC 250₇ の主な仕様

標準バケット容量 (m ³)	5.2
機械質量 (t)	108.7
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	485(660)/1,800
最大掘削深さ×同半径 (m)	9.35×15.35
最大掘削高さ (m)	13.4
最大掘削力(バケット) (kN)	479
作業機最小旋回半径/後端旋回半径 (m)	7.965/4.87
走行速度 高速/低速 (km/h)	3.2/2.1
登坂能力 (度)	35
接地圧 (kPa)	140
全長×全幅×全高 (m)	16.02×5.355×6.04
価格 (百万円)	142.8

(注) 碎石仕様を示す。



写真一 コマツ「GALEO」PC 1250₇ 油圧ショベル

itoring System) を標準装備しており、故障予知や機械部品の寿命管理を可能にしている。また、VHMS は衛星通信機能をオプションで搭載することも可能である。

▶ <03> 積込機械

02-〈03〉-05	コベルコ建機(米)CNH社製 ホイールローダ (スキッドステア型) ① Q-b.05 (1825 B) ② Q-b.09 (40 XT)	① '02.07 発売 ② '02.08 発売 輸入新機種
------------	--	-------------------------------------

米国 CNH Global N. V. 社との提携機として輸入されたもので、都市土木作業、農畜産作業、除雪作業などに幅広く使用される小形のホイールローダである。左右独

表二 Q-b.05 ほかの主な仕様

	Q-b.05 (1825 B)	Q-b.09 (40 XT)
標準バケット容量 (m ³)	0.20	0.37
運転質量 (t)	1.525	2.735
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	20.1(27.3)/2,400	42(57)/2,000
ダンピングクリアランス×同リーチ (m)	1.93×0.7	2.18×0.715
最大走行速度 F/R (km/h)	8.7	11
最小回転半径(最外側) (m)	1.62	2.03
登坂能力 (度)	30	30
軸距×輪距(前後輪とも) (m)	0.845×0.96	1.05×1.245
最低地上高 (m)	0.17	0.205
タイヤサイズ (—)	27×8.50-15, 6 PR	10-16.5, 8 PR
全長×全幅×全高 (m)	2.77×1.245×1.78	3.28×1.68×1.92
価格 (百万円)	2.95	4.00

(注) 機種名欄の 1825 B および 40 XT は型式を示す。



写真二 コベルコ建機 Q-b.05 (左上) と Q-b.09 (右下) ホイールローダ(スキッドステア型)

新機種紹介

立した4輪駆動によってその場旋回が可能なコンパクトボディであるが、ロングホイールベース設計により安定性を確保している。走行およびアーム・バケットの操作は2本のレバーを使用し、ペダル操作は不要である。ROPS（転倒時運転者保護構造）およびFOPS（落下物保護構造）に対応するキャノピを標準装備しており、そのキャノピフレーム内の前面には、チェック&セーフティモニターを装備して作動確認を容易にしている。さらに、安全バーと着座センサ（Q-b.09のみ）を標準装備して、運転手の安全を確保している。開閉式ボンネットやチルト式キャノピの採用により、日常点検および運転席下の機器の整備作業も容易である。スイーパー、転圧ローラなど各種アタッチメントが用意されており、とくにQ-b.09は、簡易脱着機構付きで、幅広い作業に対応できる。国土交通省の排出ガス対策型基準、低騒音型基準をクリアしており、環境保全に配慮している。

▶ <04> 運搬機械

02-<04>-05	新キャタピラー三菱 （(英)キャタピラー社製） 重ダンプトラック （アーティキュレート式） CAT 735	'02.07 発売 モデルチェンジ
------------	---	----------------------

不整地や軟弱地走行に強い6輪駆動式の重ダンプトラックについて、生産性、居住性、メンテナンス性などの向上を図ってモデルチェンジしたものである（D350E SERIES IIのモデルチェンジ）。EPA（米国環境保護局）やEU（欧州連合指令）制定の排出ガス規制2次基準値をクリアする出力アップのエンジンを搭載し、電子式クラッチ圧制御システムECPC（Electronic Clutch Pressure Control）を採用したフルオートマチックトランスミッションとのマッチングでスムーズな走行性を実現した。

表—3 CAT 735の主な仕様

最大積載質量/山積容量	(t/m ³)	32/19
運転質量	(t)	30.0
定格出力	(kW(PS)/min ⁻¹)	272(370)/1,900
荷台上縁高さ	(m)	2.92
最高走行速度 F_7/R_1	(km/h)	55.8/7.9
最小回転半径（最外側）	(m)	8.6
最低地上高	(m)	0.53
輪距（前後とも）×軸距	(m)	2.64×5.23
タイヤサイズ	(—)	26.5-R25 RL2+ラジアル
全長×全幅×全高（キャブ上端）	(m)	10.89×3.305×3.705
価格	(百万円)	69.2



写真—3 CAT 735 重ダンプトラック（アーティキュレート式）

不整地や軟弱地の走行においては、前、中、後の3軸を直結するインタックスルディファレンシャルと、各軸の左右車輪を直結するクロスアックスルディファレンシャルの組み合わせで、3軸6輪全てをデフロックすることが可能である。可変容量ポンプ採用のロードセンシング式パワーステアリングを搭載したROPSキャブはセンタマウント式で、オペレータ耳元騒音を79dB(A)と低減している。ラジエータやオイルクーラなどの冷却システムをキャブ後部に配置してメンテナンス時のアクセスを容易にし、さらに、キャブチルト機構や電動チルトアップ式エンジンフードでサービス性を向上している。

02-<04>-06	新キャタピラー三菱 （(米)キャタピラー社製） 重ダンプトラック CAT 773 E	'02.07 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

鉱山・碎石現場や大規模土木工事現場で使用される重ダンプトラックについて、生産性、メンテナンス性などの向上と環境対応性を図ってモデルチェンジしたものである（CAT 773 Dのモデルチェンジ）。トルクライズを約20%アップしたエンジンを搭載し、ロックアップ機構付きフルオートマチックトランスミッションやブレー

表—4 CAT 773 E 重ダンプトラック

最大積載質量/山積容量	(t/m ³)	55/35.2
運転質量	(t)	40.15
定格出力	(kW(PS)/min ⁻¹)	501(681)/2,000
荷台上縁高さ	(m)	3.775
最高走行速度 F_7/R_1	(km/h)	65.8
最小回転半径（最外側）	(m)	11.9
最低地上高	(m)	0.59
輪距（前/後）×軸距	(m)	3.275/2.925×4.19
タイヤサイズ	(—)	24.00-R35 (E-4) ラジアル
全長×全幅×全高（キャブ上端）	(m)	9.69×5.08×4.395
価格	(百万円)	84.5

新機種紹介



写真-4 CAT 773 E 重ダンプトラック

キなどととも統合コントロールする電子制御ネットワークシステム「CAT データリンク」の採用によって、効率的な作業性能を発揮する。エンジンはまた、噴射タイミングや量の時間を最適化する燃料噴射制御システム HEUI (Hydraulic Electronic Unit Injection) の採用によって、EPA (米国環境保護局) や EU (欧州連合) の排出ガス 2 次規制をクリアしている。ステアリングシステムには、可変容量ポンプを装備したロードセンシング式パワーステアリングを搭載し、空気作動油圧式ブレーキシステムには、前輪に乾式ディスクを、後輪には密閉湿式多板式ディスクを採用している。リターダを自動的に制御してエンジン回転数を一定に保つオートマチックリターダコントロールの採用、FOPS/ROPS キャブの搭載、急速エンジンオイル交換システムの標準装備、自己診断機能・エレクトロニックモニタリングシステムの装備など安全性、メンテナンス性を高めている。積込み機械との組み合わせでは、988 クラスで 5 杯積み、990 クラスで 3~4 杯積みとしている。

▶ <05> クレーン、エレベータ、高所作業車およびウインチ

02-<05>-03	アイチコーポレーション 高所作業装置 SL-06 A	'02.07 発売 新機種
------------	-------------------------------	------------------

建築工事や架設物のメンテナンス工事などの高所作業において、安易に使用できる装置として開発されたものである。装置は、平ボディトラックに工場架装して使用するもので、バスケットを折りたたみ式としているので、格納姿はコンパクトにまとめられる。架装トラックの空スペースは通常の荷物運搬用として使用できる。動力源はトラックのバッテリーを使用し、左右方向 2° を超える傾斜地で使用する場合は、標準装備の傾斜防止ジャッキ

表-5 SL-06 A の主な仕様

最大積載荷重 (搭乗人員)	(kg)	200 (2 名)
最大地上高 (作業床高さ)	(m)	6.0
機械質量	(t)	0.8
作業床スライド 左/右	(m)	0.57/0.57
作業床内側寸法 (幅×奥行×高)	(m)	1.5×0.72×0.98
昇降ストローク	(m)	4.65
動力源	(V)	DC 24
全長×全幅×全高 (装置単体格納時)	(m)	1.275×1.68×4.8
架装対象シャーシ	—	1.5~4.0 t 車クラス
価格	(百万円)	1.89

- (注) ① 作業床スライドは手動による。
 ② 動力源はシャーシバッテリーからとる。
 ③ 価格には架装工賃を含む。

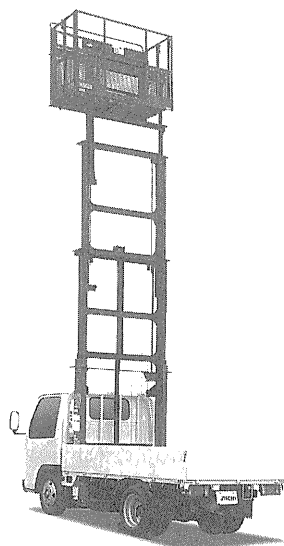


写真-5 アイチコーポレーション「スカイタワー」
SL-06 A 高所作業装置

(手動引出し・ピン固定式) を使用する。バスケットは操作部の中央にあるハンドル操作により左右にスライドすることが可能で、広い作業範囲を確保できる。作業床地上高は 10 m 未満であるので、事業主が行う高所作業車運転のための「特別教育修了者」であれば運転操作が可能である。

▶ <06> 基礎工事機械

02-<06>-04	技研製作所 杭圧入引抜機 (油圧式) 100-3 C ほか	'02.07 発売 モデルチェンジ
------------	-------------------------------------	----------------------

環境保全対応をコンセプトに、さらに情報通信機能を付加して設計された 100-3 C (3 本クランプ) と 100-4 C

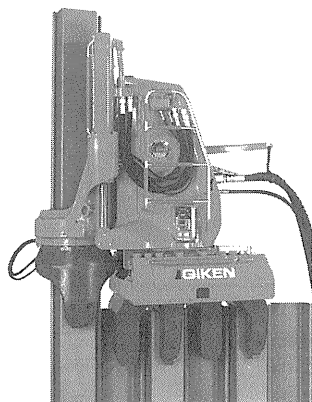
新機種紹介

(4本クランプ)である(SA100のモデルチェンジ)。杭圧入・引抜き作業におけるシステムは、圧入機本体、エンジンユニット(自走・クローラ式)、水噴射ユニット(自走・クローラ式)、反力架台などで構成される。エンジン出力をアップして作業性を向上させ、パワーモードとエコモードの設定やアイドルリング切替え機構の採用で騒音と燃費の低減を実現した。国土交通省の超低騒音型基準値や排出ガス対策2次規制基準値をクリアしており、作動油には植物系の生分解性のものを使用して環境保全に配慮した。水噴射ユニットは、杭の動きに合わせて水量を自動調節することができるので、使用水量の節約と操作手間の省力化を実現した。操作はラジコン操作となっており、圧入機本体に設置したモニタには、圧入・引抜力、圧入・引抜きストローク、圧入機本体の傾斜角度、水噴射量、水圧などが表示される。情報通信機能では、圧入情報、メンテナンス情報、GPS利用の位置情報などがリアルタイムで利用できる。

表一六 100-3 C ほかの主な仕様

	100-3 C (3本クランプ)	100-4 C (4本クランプ)
圧入力/引抜力 (kN)	1,000/1,100	1,000/1,100
ストローク (mm)	850	850
適用矢板	U形400ピッチ I _A ~IV _A	U形400ピッチ I _A ~IV _A
クランプ機体質量 (t)	6.5	6.9
クランプ機体 全長×全幅×全高(m)	1.925×1.0×2.51	2.065×1.0×2.51
エンジン定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	221(300)/1,800 [177(240)/1,500]	221(300)/1,800 [177(240)/1,500]
エンジンユニット質量 (t)	7.4	7.4
エンジンユニット 全長×全幅×全高(m)	4.315×1.855×2.350	4.315×1.855×2.350
価格 (百万円)	見積	見積

(注) エンジン定格出力はパワーモードとエコモード〔 〕書きを示す。



写真一六 技研製作所「サイレントバイラー エコ」
100-4 C 杭圧入引抜機 (油圧式)

▶ <10> 環境保全装置およびリサイクル機械

02-<10>-05	古河機械金属 木材破砕機 FPC 220 S ほか	'02.06 発売 新機種
------------	------------------------------	------------------

運搬移動性を考慮した軽量、コンパクトな設計の自走式2機種と定置式1機種である。破砕物は横向きに開口したホッパから投入され、底部にある油圧駆動のローラ式送り装置で破砕装置へ送られる。送り装置は送り速度の調節が可能で、正逆回転や停止が簡単にできる。また、過負荷になると送りローラは自動停止し、エンジンの回転速度が回復すると自動で復帰する自動制御機構を搭載している。破砕装置の駆動方式は遠心クラッチ式(FPC 220 S)またはVベルトクラッチ式(FPC 220 G & FPC 220 R)で、チップパ刃による1次破砕とシュレツダ刃による2次破砕で細かく破砕する。チップパ刃は研磨可能な2面刃を採用し、シュレツダ刃は耐摩耗鋼使用の4面刃で反転使用を可能としている。走行装置は油圧駆動式で、

表一七 FPC 220 S ほかの主な仕様

	FPC 220 S 自走式	FPC 220 G 自走式	FPC 220 R 定置式
処理能力 (m ³ /h)	3.3	3.0	3.0
最大供給寸法 (mm)	φ150	φ150	φ125
機械質量 (t)	0.96	0.85	0.345
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	ディーゼルエンジン 14.8(20)/2,400	ガソリンエンジン 12.7(17)/3,300	ガソリンエンジン 12.7(17)/3,300
ホッパ口寸法 (m)	0.65×0.55	0.65×0.55	0.45×0.55
シュータ出口高 /回転角度 (m/度)	1.85/360	1.85/360	—/360
最高走行速度 F ₂ /R ₁ (km/h)	1.7	2.0	—
クローラ幅×接地長 (m)	0.205×0.905	0.205×0.905	—
全長×全幅×全高 (m)	2.1×1.2×1.85	1.95×1.2×1.85	1.35×1.15×1.0
価格 (百万円)	2.98	2.48	1.68

(注) ① FPC 220 S, FPC 220 G はゴムクローラ式。

② 処理能力は破砕物の種類、作業条件によって異なる。



写真一七 古河機械金属「パワーチップパー」
FPC 220 S 木材破砕機

新機種紹介

不整地走行で有効な可動転輪機構を採用している。排出シュータはキャブにより排出角度の調節ができるので、直接、トラックなどへの積み込みが可能である。緊急時に備えた送り装置非常停止スイッチを搭載して安全に配慮しているほか、投入ホッパは片側に開閉できる構造として、刃の交換や日常点検などメンテナンスを容易にしている。

▶ <11> コンクリート機械

02-<11>-01	三菱重工業 コンクリートポンプ車 DC-L 1100 BM-M 33	'02.03 発売 新機種
------------	--	------------------

建築工事や土木工事に使用される低スランプコンクリートの圧送も可能なコンクリートポンプ車である。12tシャーシに架装したもので、ブームの伸縮は油圧・4段屈伸式を採用している。ブームに沿ったコンクリート輸送配

表-8 DC-L 1100 BM-M 33 の主な仕様

最大吐出量/最高吐出圧	(m ³ /h/MPa)	107/4.9 (69/7.5)
最大地上高	(m)	32.6
ホッパ容量	(m ³)	0.45
車両総質量	(t)	約 21.885
エンジン最大出力	(kW(PS)/rpm)	272 (370)/2,200
水タンク容量	(ℓ)	450
軸 距	(m)	6.03
旋 回 角 度	(度)	360
アウトリガ張出幅 前/後	(m)	7.4/7.4
全長×全幅×全高	(m)	11.3×2.48×3.62
価 格	(百万円)	65

(注) ① 最大吐出量/最高吐出圧は理論値。
② [] 書きはオプション仕様値。

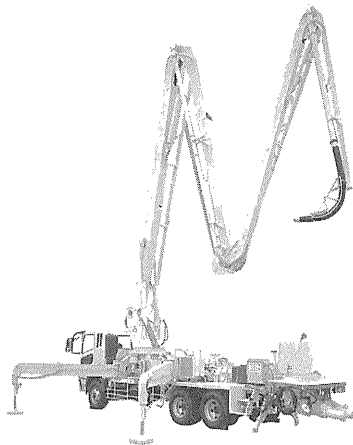


写真-8 三菱重工業「マックバルブ」DC-L 1100 BM-M 33
コンクリートポンプ車

管は、ブーム貫通型として左右のバランスをとって圧送時の振動を小さくしている。ポンプハウジングを分割型としてメンテナンス性を向上したほか、ゲートバルブ半開防止装置を装着して圧送を確実にした。また、バルブには静音油圧バルブを採用して低騒音を実現した。打設作業終了時においては、スポンジを用いてホッパとパイプに残るコンクリートを押し出す方式を採用して清掃を容易にした。

▶ <12> モータグレーダ、路盤機械および締固め機械

02-<12>-02	コマツ モータグレーダ GD 655 ₃	'02.08 発売 モデルチェンジ
------------	---------------------------------------	----------------------

道路工事や除雪作業に幅広く使用されるモータグレーダについて、作業性、操作性、居住性の向上と環境保全対応、稼働情報管理システム (KOMTRAX) の標準装備などによってモデルチェンジしたものである。エンジンは国土交通省の排出ガス対策2次基準値をクリアしたものを搭載して、環境に配慮し、トランスミッションはロックアップ機能付きトルクコンバータを採用した、デュアルモードトランスミッションを搭載して作業条件や用途に応じた使分けを可能にしている。「ダイレクトモード」ではロックアップ機能が動き、負荷変動に対し車速変動が少ないので、路床、路盤の仕上げ作業、高速除雪

表-9 GD 655₃ の主な仕様

ブレード長さ×高さ	(m)	3.71×0.545
運転質量	(t)	15.29
定格出力	(kW(PS)/min ⁻¹)	123 (167)/1,900
ブレード旋回角度	(度)	130
走行速度 F ₃ /R ₄	(km/h)	47/37
最小回転半径	(m)	7.1
登坂能力	(度)	24
輪距 (前後輪とも)×軸距	(m)	2.06×6.07
タイヤサイズ (前後輪とも)	(—)	14.00-24-12 PR
全長×全幅×全高	(m)	8.595×2.46×3.37
価 格	(百万円)	19.4



写真-9 コマツ「GALEO」GD 655₃ モータグレーダ

新機種紹介

作業に効率アップが図られる。一方、「トルクコンバータモード」では5～8速まで自動変速で、細かいブレード操作時でも変速操作を不要とする。油圧システムには可変容量ポンプと圧力補償式コントロールバルブを採用して、微操作性、同時操作性を向上しており、操作における作業機シリンダの伸び/縮みはどちらも同じ速度である。視界重視の四角形の大形キャブにはエアコンディショナを標準装備して暑さ、寒さに快適な居住性を確保した。タンデムホイールのブレーキは、密閉式・多板式ディスクを採用し、調整を不要としている。

▶ <14> 維持修繕・災害対策用機械および除雪機械

02-〈14〉-03	日立建機 路面清掃車(アタッチメント式) LX 50 ₇	'02.07 発売 応用製品
------------	---	-------------------

工事現場周辺、雪融け後の道路など、幅広い清掃作業を対象として開発されたホイールローダをベースとする路面清掃車(アタッチメント式)である。水を使用しない乾式で、ホッパ底部の回転ブラシでかき集めた粉塵を、ホッパ上部に取付けられた油圧駆動式ブロワでホッパ内に吸込む構造で、ホイールローダへの装着は簡易脱着機構(機械式)を使用しており、他のアタッチメントとの

表—10 LX 50₇の主な仕様

清掃能力(3.5km/h時)	(m ² /h)	7,230
最大清掃幅/清掃速度	(m)/(km/h)	2.065/0～3.5
運転質量(キャブ付き)	(t)	6.31
定格出力	(kW(PS)/min ⁻¹)	44.1(60)/2,200
ホッパ容量	(m ³)	0.6
最高速度 前進/後進	(km/h)	30/30
吸込みノズル全幅	(m)	1.7
ブロワ風量	(m ³ /min)	37
輪距(前後輪とも)×軸距	(m)	1.47×2.2
全長×全幅×全高	(m)	5.73×2.285×2.75
価格	(百万円)	15.9

(注) 最大清掃幅にはサイドブラシを含む。



写真—10 日立建機 LX 50₇ 路面清掃車

交換も容易である。装置本体は前後傾士8度の調節が可能で、路面変化に追従できる。ブームの下降は、レバーを下げにすることでゆっくり降下する機構を採用している。ホッパに溜まった粉塵は、直接、4tダンプトラックへ放出できる。

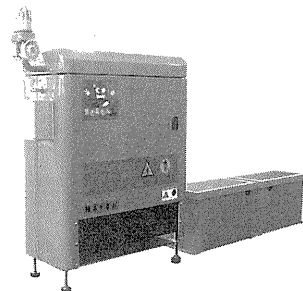
02-〈14〉-04	前田製作所 凍結防止剤散布装置 (定置式) DSF-008	'02.07 発売 新機種
------------	--	------------------

路面凍結の生じやすい場所に設置して、薬剤を自動散布できるようにした装置である。薬剤には塩化カルシウム(粒状)または酢酸カルシウムマグネシウム(CMA・粒状)を使用し、バッテリー駆動の回転円盤による遠心力で散布する。薬剤の散布範囲は、散布円盤の回転数増減設定により調節する。自動散布モードと手動散布モードがあり、「自動散布モード」では、外気温度(+40～-20℃)、設定時間(5タイマー)、散布時間(1～10s)、散布強度(1～32段階)を設定しておく、設定時間内に一定の外気温度に達すると自動的に薬剤散布が行われる。「手動散布モード」では、任意の時に薬剤散布が可能である。光ファイバケーブルや携帯電話による遠隔制御が行えるようモデムの追加がオプション

表—11 DSF-008の主な仕様

ホッパ容量	(m ³)	0.08
散布量(密度)	(g/m ²)	30
散布範囲 前×左×右	(m)	9×7×4
機械質量	(t)	0.07
電源	(V)	DC 24
全長×全幅×全高	(m)	0.39×0.98×1.44
価格	(百万円)	1.6

(注) ① 仕様値は塩化カルシウム(粒状)使用の場合を示す。
② 散布密度、散布範囲は環境・設置条件などにより異なる。



写真—11 前田製作所「まきえもん Jr」DSF-008 凍結防止剤散布装置

新機種紹介

で用意されている。本体の材質はステンレスを使用して防錆に配慮している。

02-(14)-05	コマツ ((カナダ) デニスシマフ社製) DAH-100 ほか	'02.07 発売 輸入新機種
------------	---------------------------------------	--------------------

土地造成や整理において、雑木処理や下草刈りに使用される油圧ショベル用アタッチメントとして確立したものである。油圧ショベルをベースマシンとしているので、不整地や傾斜地における安定性、機動性が良く、長いリーチを生かしての効率の高い作業が可能である。また、バケットシリンダを使ってのカットの傾度合わせも自在である。カットは油圧ショベルの高油圧を使用して駆動しており、高速回転であるため、雑木、笹竹など幅広い対象物に対応できる。粉碎物はそのまま現場に散布することで森林に還元できる。

表-12 DAH-100 ほかの主な仕様

	DAH-100	DAH-150
刈幅 (m)	1.105	1.46
刃数 (個)	11	15
機械質量 (t)	1.0	1.136
使用油圧力 (MPa)	26	26
全長×全幅×全高 (m)	1.562×0.629×1.124	1.93×0.629×1.124
装着油圧ショベル (—)	PC 120~PC 158 US	PC 200~PC 228 US
価格 (百万円)	5.1	6.8

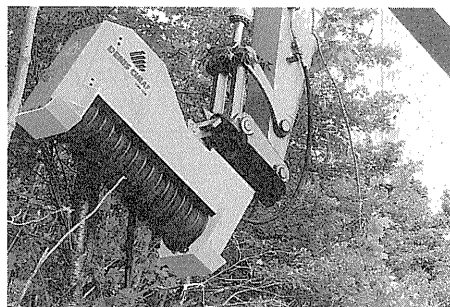


写真-12 コマツ 林業用アタッチメント「ブラッシュカッタ」DAH-150

● お知らせ ●

「調査票提出促進運動」の実施について

経済産業省経済産業政策局調査統計部

経済産業省で実施しております生産動態統計調査、商業動態統計調査等につきましては、常日頃より御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

皆様より提出された調査票は、当部において集計し、加工、分析の上公表され、商工業における企業経営、国・地方公共団体の行政上の施策の基礎資料として、さらには諸研究のための貴重な基礎データとして、広く利用されております。

当統計部におきましては、「統計の日」(10月18日)を中心として、毎年「調査票提出促進運動」を実施しております。この運動は、調査対象の企業、事業所に対し調査票の提出について今後とも御協力をお願いするとともに、業界団体、組合等に対する協力依頼、広報誌等によるPRの実施などを行うものです。

当統計といたしましても、調査内容の見直し、調査結果の早期公表等の努力を続けておりますが、今後ともより良い統計を作成するためには、皆様の御協力により「正確な」調査票を「所定の期日」までに提出していただくことが何にも増して重要であります。

引き続き皆様の御理解を賜わり、調査票の提出に御協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、平成12年よりインターネットを利用したオンラインでの調査票の提出をいただいております。オンラインでの提出の詳細については、経済産業省のホームページ (<http://www.meti.go.jp>) で「統計→新世代統計システム」として紹介しておりますので、是非御覧のうえ、御協力を賜りますようお願い申し上げます。